

令和5年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・社会人特別選抜）

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は7枚（表紙を除く）、解答紙は2枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

設問 I

以下の文章を読み、(1)～(7)の問いに答えなさい。解答は解答紙の1枚目に記し、各解答の間は1行分空けること。

<ここに下記 文献が入ります。>

吉見俊哉 (2021) 『大学は何処へ—未来への設計』岩波書店、218-224 頁より引用 (一部改変)。

出典) 吉見俊哉 (2021)『大学は何処へー未来への設計』岩波書店、218-224 頁より引用
(一部改変)。

問い

(1) 下線部 (1) 日本の大学教育が「閉鎖形の極致」とされるのはなぜか、本文に沿って
答えなさい。分量は解答紙 2 行以内。

(2) 下線部 (2)「そのようなキャリアと学歴の関係」とはどのような関係か。本文に沿
って答えなさい。分量は解答紙 2 行以内。

(3) 下線部 (3)「育成してしまっている」とあるが、なぜ「育成している」と表現しな

いのか。筆者の意図を答えなさい。分量は解答紙2行以内。

(4) 二重線部「オープン・ユニバーシティ」「通信制大学」「カレッジ型大学」の三つに加えて、本文で用いられている日本の学校種別名を一つ用いて、4象限の図を完成させなさい。その際、二つの軸に適当な名前をつけること。分量は解答紙5行分。

(5) 下線部(4)「その序列が人生の後半までをも規定してしまう仕組み」とは、どの国の、いつの時代の、何の仕組みのことを指しているか答えなさい。分量は解答紙2行以内。

(6) 下線部(5)「創造的なノイズの発生装置」という表現を用いて、戦後日本の大学の姿を記しなさい。分量は解答紙2行以内。

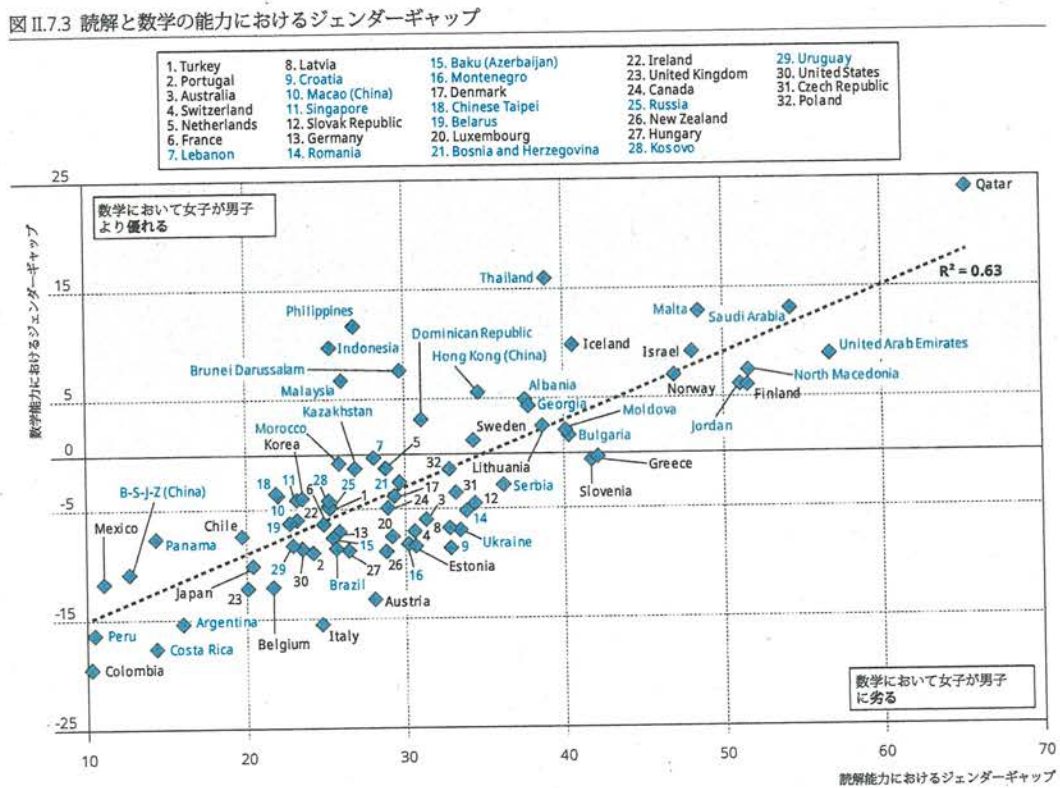
(7) 下線部(6)「ユニバーシティの原理」が日本の大学に内包されていないことで、社会人大学院生がどのような困難に直面するかを記した上で、どのような対応策が考えられるか論じなさい。その際、対応策のレベルは、個人、教員、研究科、大学、政策のいずれか一つを選択しなさい。分量は解答紙5行以上。

設問Ⅱ

以下の資料は OECD による学習到達度調査 PISA 2018 の結果のうち、性別による学力差と学力上位層に対するキャリアへの意識についての図表を抜粋したものである。なお、PISA 2018 は 15 歳の生徒に対して行われた調査である。次の (1) (2) に答えなさい。なお、解答は解答紙の 2 枚目に記し、合わせて 1 枚の分量程度とすること。

- (1) 資料 1 から、読解力・数学リテラシーのそれぞれの能力の性別差について、地域ごとおよび総体として読み取れることを述べなさい。また、その結果をふまえて展開できる新たな仮説を論じなさい。
- (2) 資料 1、2、3 において、日本と他国を比較した際に読み取れる日本の傾向について述べた上で、問題点や今後の社会に対する影響、教育的な観点での対応策について、あなた自身の考えを述べなさい。

資料 1: 15 歳の生徒における読解と数学の能力のジェンダーギャップ

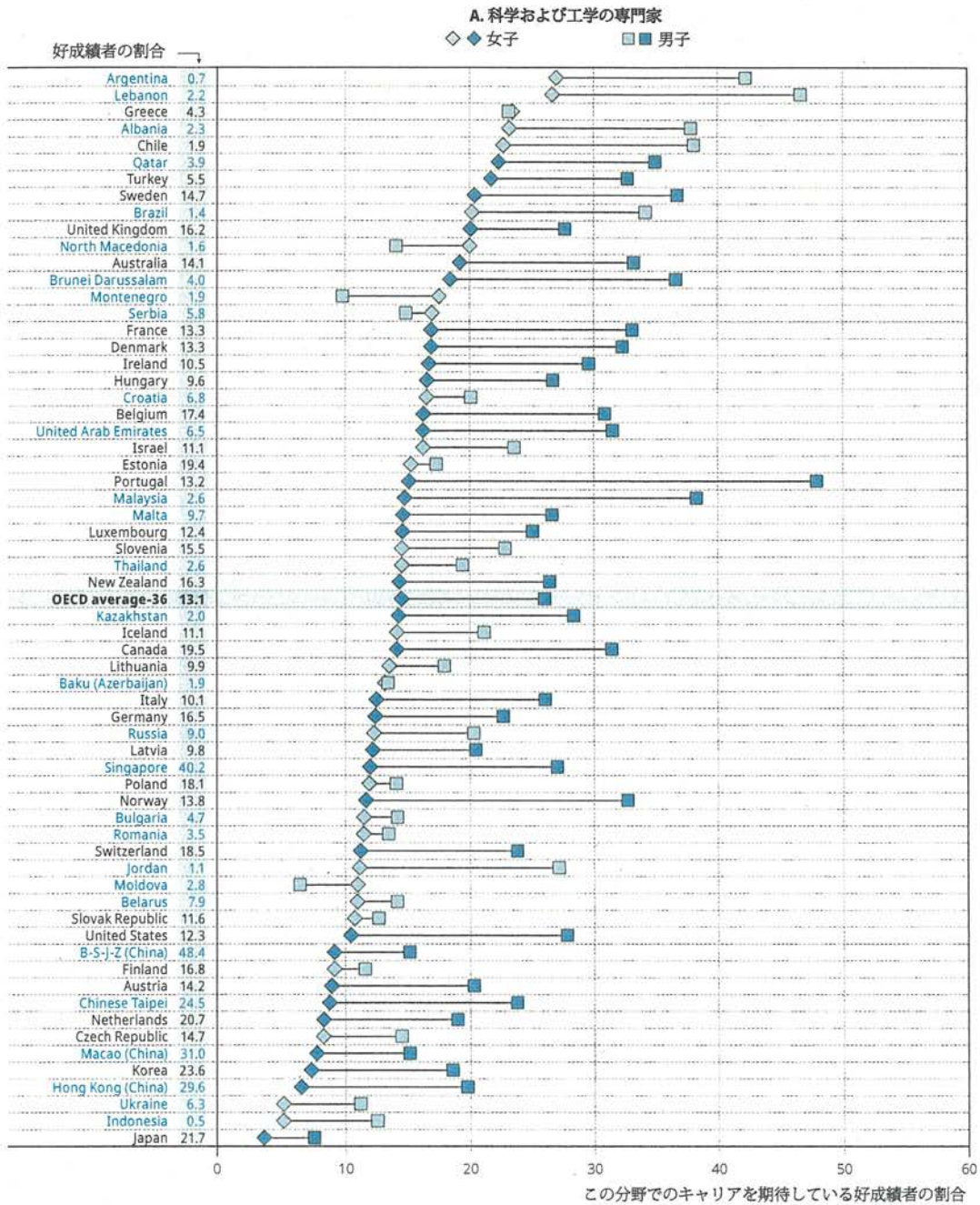


注: ジェンダーギャップは女子と男子のスコアの差を表す (女子 - 男子)
 出典: OECD, PISA 2018 Database, Tables II.B1.7.1 and II.B1.7.3.

出典: PISA 2018 Results (Volume II) Where All Students Can Succeed. OECD. 2019. (一部翻訳・改変)

資料2：15歳の生徒における数学または科学の成績上位者のキャリア期待に関するジェンダーギャップ（科学及び工学の専門職）

図 16a・数学もしくは科学における好成績者が持つキャリア期待における男女差



注：統計的に有意な男女の差については暗いトーンで示される。

この図で「好成績者」とは、読解・数学・科学の3つのコア科目全てで少なくともレベル2を達成し、数学もしくは科学でレベル5または6を達成した生徒を指す。国と地域はこの分野でのキャリアを期待している成績上位の女子の割合が高い順にランク付けされている。

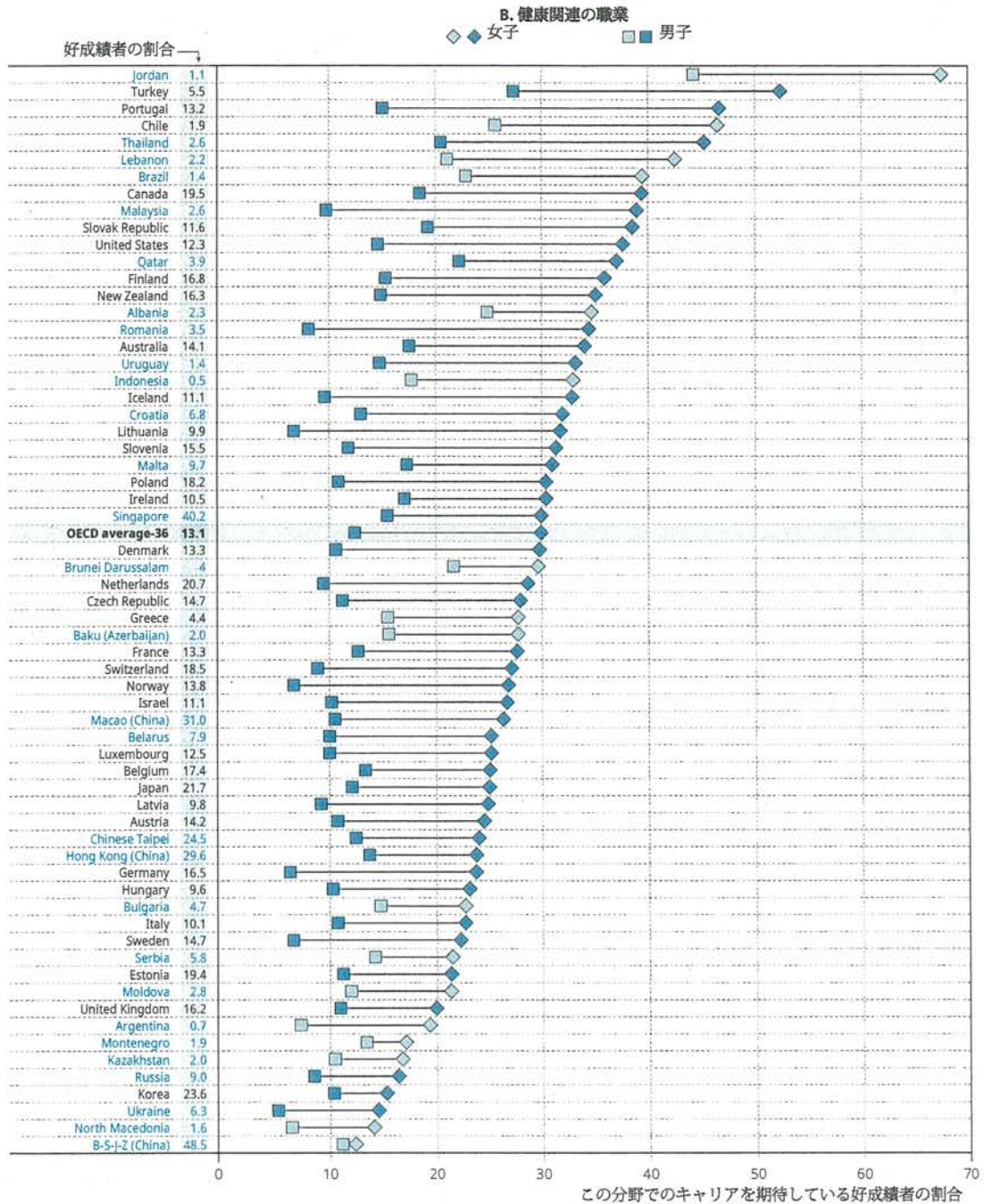
OECD average-36 は、スペインを除く OECD 加盟国（およびコロンビア）の算術平均を表す。

出典：OECD, PISA 2018 Database, Tables II.B1.8.22 and II.B1.8.23; Figure II.8.8.

出典：Andreas Schleicher. *PISA 2018 Insights and Interpretations*. OECD, 2019. (一部翻訳・改変)

資料3：15歳の生徒における数学または科学の成績上位者のキャリア期待に関するジェンダーギャップ（健康関連の職業）

図 16b・数学もしくは科学における好成績者が持つキャリア期待における男女差



注：統計的に有意な男女の差については暗いトーンで示される。
 この図で「好成績者」とは、読解・数学・科学の3つのコア科目全てで少なくともレベル2を達成し、数学もしくは科学でレベル5または6を達成した生徒を指す。国と地域はこの分野でのキャリアを期待している成績上位の女子の割合が高い順にランク付けされている。
 OECD average-36 は、スペインを除く OECD 加盟国 (およびコロンビア) の算術平均を表す。
 出典：OECD, PISA 2018 Database, Tables II.B1.8.22 and II.B1.8.23; Figure II.8.8.

令和5年度 (第1期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚(表紙を除く)、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと(設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること)。

…………臨床心理学コース…………

【設問Ⅰ】 児童虐待と対策の現状と問題点について述べなさい。 (20点)

【設問Ⅱ】 心理療法とカウンセリングの異同について述べなさい。 (20点)

【設問Ⅲ】 インターネット上で閲覧できるメンタルヘルスに関する情報の中には適切ではないものも多く存在する。インターネット上のメンタルヘルスに関する情報の適切性を判断するうえで、どのような判断基準が有用だと考えられるか。あなたの考えを述べなさい。 (20点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。 (各5点)

(1) HEE (High Expressed Emotion)

(2) 精神保健福祉法

(3) 形式的操作期

(4) セルフスティグマ

(5) 家族システム理論

(6) アサーション・トレーニング

(7) 三項随伴性

(8) メタ分析

(以下余白)